

ニホンアカズヒラタバチ

晩春から夏にかけてカラマツやマツの葉を食べる緑色のイモムシ（幼虫）。最大長約25mm。イボ状の脚（あし）はない。頭は黄色から茶色。単独生、枝や葉に糸をかけて巣くう。

1990年代に道央で多発した。



1. 老齢幼虫，体長14mm。1995/6/27.



2. 卵，長さ2.5mm，1995/6/27.



3. 雄成虫，体長12mm。1995/6/27。同上.



4. 雌成虫，体長13mm.

1～4. 支笏湖周辺のカラマツ林で1995年に多発した個体群.

【学名】 *Acantholyda nipponica*

【分類】 ハチ目 (Hymenoptera) , ハバチ亜目 (Symphyta) , ヒラタバチ科 (Pamphiliidae)

【分布】 北海道，本州

【特徴】

ヒラタバチ科の幼虫は細長い円筒形，腹脚がなく，触角がヒゲ状，尾端の左右に1本ずつ突起（尾肢）があるのが特徴。ニホンアカズヒラタバチの幼虫は終齢で体長20～25mm。頭部は茶色。体は鮮やかな黄緑色。ときどき頭部のすぐ後の背面が黒くなる。尾端はオレンジ色に縁取られる。中～終齢幼虫の巣は糸を粗くかけただけのもので，虫糞は付着しない。成虫は体長12～15mm。雌は雄より大きい。体は黒く，青いつやがある。雌では頭部が赤い。翅（はね）は黒い。卵は2mm程度，黄土色。

カラマツにつく他の2種のヒラタバチ（カラマツヒラタバチとニホンカラマツヒラタバチ）は成虫や幼虫の色彩が大きく異

なる。成虫はトウヒ属を食べるオオアカズヒラタハバチに似るが、体のつやが青い点で異なる。

【生態】

宿主：カラマツ属（ニホンカラマツ）、マツ属（アカマツ、クロマツ、ストロブマツ）

北海道では年1回発生。成虫は6月に出現。卵は短枝葉に1個ずつ産み付けられる。

幼虫は枝上に粗く糸をかけて葉を食害する。食害のピークは7月中～下旬。

十分成長した老熟幼虫は地面に降り、土に潜って丸い部屋を作る。部屋は土窩（どか）と呼ばれ、非常にもろい。部屋は地面から深さ5～20cmの土の中に作られ、落葉層内には作らない。なお、前蛹は蛹になりかかった幼虫のことで、動きが鈍く、幼虫の頭部の皮膚の下に蛹の目が透けて見えることで認識できる。成虫は蜂だが、人や動物を刺すことはない。

土窩の中で秋に前蛹になり越冬、翌春に蛹化、ついで羽化する。なお、前蛹にならず幼虫のまま越冬する個体がかかなりあり、次の年も土中にとどまる。いつ成虫になるかは不明。

【天敵】

樹上の幼虫を捕食する天敵としてヒラタアブ科の1種の幼虫とゴミムシ科?の1種の幼虫があるが、天敵としての有効性は不明。土の中の幼虫では寄生蠅（ヤドリバエ科の1種）、病原性糸状菌による死亡がみられるが、これら天敵による死亡率は札幌市では数%にすぎなかった。大発生の終息要因は不明である。

【被害と防除】

1994～98年、苫小牧市西部から石狩西部にかけて大発生した。本州ではアカマツ、クロマツを食べることが古くから知られていたが、害虫というより希少種であり被害記録もない。

道内のカラマツ林ではニホンアカズヒラタハバチ、カラマツヒラタハバチ、ニホンカラマツヒラタハバチが同じ頃から多発した。これら3種はいずれも本州から北海道に侵入した害虫と考えられるが、ニホンアカズヒラタハバチはマツ属も食害することから土着種の可能性は否定できない。

食害により木が枯れた例はないので、多発した場合は自然に終息するのを待つ方が良いと考えられる。

なお、マツ属の樹木はマツカレハなど食害では枯れることがある。ニホンアカズヒラタハバチではマツ属での被害実態はよく分かっていない。将来、マツ属に多発した場合は食害後の経過を詳しく観察する必要がある。

【文献】

1995. 福山研二, 前藤薫, 東浦康友, 原秀穂. 1994年に北海道で発生した森林昆虫. 北方林業, 47: 166-169. (最初の被害記録.)

1996. 前藤薫, 福山研二. カラマツを食べるヒラタハバチに注意. 森林保護, 251:6-7. (生態や被害.)

1997. 伊藤賢介, 福山研二, 東浦康友, 原秀穂. 1996年に北海道で発生した森林昆虫. 北方林業, 49:224-227. (被害記録など.)

1997. Shinohara, A. Web-spinning sawflies (Hymenoptera, Pampiliidae) feeding on larch. Bull. natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. A., 23:191-212. (分類や形態, 文献の整理.)

ニホンアカズヒラタハバチ hirataha/nihoaka/

kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2000/1/27.
yochu1.JPG, tamago.JPG, seichu1.JPG, seichu2.JPG

「写真 1～4」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1995.